

## 平成 29 年度第 2 回阿賀野市地域公共交通協議会 議事要旨

日 時 平成 29 年 8 月 28 日（月）午後 2 時 30 分～午後 3 時 30 分

場 所 阿賀野市役所 403 会議室

出席者 委員名簿のとおり

議 事

### （1）平成 29 年度デマンド交通（予約バス）の実証運行について

○ 以下のとおり意見・質問等があったが、原案のとおり承認された。

（委員からの意見）

デマンド交通の実証実験はぜひ進めていってほしいが、資料 1－4 について、区域運行方式と定時定路線方式の 2 つだけを比較するのではなく、実証実験の結果とアンケート結果から、事務局で色々なパターンを考えた上で、これがよいというものを 3 月に示してもらいたい。また、停留所は 2 カ所増えて B、予約は利用者に負担が発生しているのに B、料金据え置きで A など、A B C 評定のやり方も 3 月までに示していただけると判断しやすいと思う。

（佐藤（美）委員）

資料 1－4 について、委員のおっしゃるとおり、実証運行を進めていく中で、こうした方がいいという案が出てくるとは思うが、一旦は 2 つの方式を比較し評価した上で次のステップに進みたいと考えている。

（小林主任）

3 月にこの協議会で決定するのは、現行方式と実証実験を行った方式のうち、どちらか 1 つを選ぶということか。

（佐藤（美）委員）

アンケート結果によって、別の案が出てくれば、資料 1－4 の評価欄にそれを記載することはあると思うが、今現在導入していこうと考えているのは、実証実験を行う方式なので、基本的には現行方式と実証実験を行った方式のうち、どちらか 1 つを選ぶことになる。

（小林主任）

すぐには実行できないかもしれないが、実証実験やアンケートでわかったことの反映も考えてもらえればと思う。

（佐藤（美）委員）

運行業者の視点は評価にないのか。 (田中会長)

市内タクシー業者と個別に話をさせていただいた中で、タクシーを使っただけの  
デマンド実証試験は現行の体制の中では難しいという回答をいただいている  
ので、市としては市営バスを使用することに決めた。したがって、運行業者の  
視点は評価しないことで考えている。 (小林主任)

例えば、前日までに予約がなかった場合、予定されていた運転員は休みとなる  
のか。 (田中会長)

あくまでも予約があった便について運行するので、予約がなければ運転員は  
休みになる。しかしながら、運行事業者も運転員を確保する必要があるので、  
予約がなかった場合の人員費の保証を含め運行事業者と委託料を協議させて  
いただきたいと思います。 (小林主任)

デマンド交通でありながらドアツードア型にしない理由は何か。 (小林(郁)委員)

最大の理由は、市内で運行体制を構築できないことがある。4月に入ってから、  
市内タクシー業者に、デマンド交通を対応できるか確認したところ、運転  
員を募集しても集まらない状況のため、対応が非常に難しいとの回答をいただ  
いた。 (小林主任)

アンケート調査により、ドアツードアにして欲しいという要望が圧倒的に多  
かった場合であっても、ドアツードアは考えていないのか。(小林(郁)委員)

アンケートの調査項目にもよると思うが、そういった状況になればドアツ  
ードアも考えていく。 (小林主任)

3月でデマンド運行の本格導入を行うか行わないかを決めるということだ  
ったが、アンケート結果を反映させるのは実証試験中か。 (小松委員)

アンケート調査は12月から開始し、3月の協議会時に集計できる範囲にお  
いてお示ししたいと思う。3月にお示しした段階で、実証実験の方式よりも良

い方式があれば、その時にご協議いただければと思う。 (小林主任)

それは、実証を延長するということか。 (小松委員)

実証運行のかたちを変えて延長することはあり得る。 (小林主任)

資料1-1の目的の中で(2)予約制による利用者数及び満足度【減少】とあるが、【減少】とは何か。また、予約はどこが受けることになるのか。

(小松委員)

(2)予約制による利用者数及び満足度【減少】はわかりづらい表現ではあるが、予約制の煩わしさによって利用者数及び満足度の減少要因になるかという意味である。次に予約受付先については、ピーク時は定時定路線でそれ以外がデマンドという説明をさせていただいたが、各路線の1日あたりの予約は20件程度だと想定しており、(駒林線、大室線)の各運行業者から対応してもらうことで進めたい。ただし、(駒林線、大室線)の運行業者で対応できない場合は、その他の路線の市営バス運行業者から対応してもらうことを考えている。

(小林主任)

前日までの予約ということであるが、当日(乗車人員に)余裕があっても前日までしか受け付けないということか。 (井岡副会長)

デマンドの実証実験は色々なところで行われているが、この近くだと新潟市北区で実施されている。当初新潟市北区では当日予約可としていたが、予約管理の問題から、現在は前日予約に変更した。今回阿賀野市で実証運行を行うに当たっては、自家用有償運送で行うこととしており、市内タクシー業者とも何度か協議させていただいた中で、なるべく運行事業者の負担にならないよう配慮して前日までの予約とした。したがって今回の実証実験は前日予約として実施したい。

(小林主任)

## (2) 平成30年度生活交通確保維持改善計画について

- 意見・質問等はなく、原案のとおり承認された。